



公益財団法人

天田財団

THE AMADA FOUNDATION

2023年度 財団のご案内

人を育て、知を拓き、未来を創る

ご挨拶



代表理事理事長
伊藤克英

当財団は、1987年に財団法人天田金属加工機械技術振興財団として設立され、金属加工機械技術の振興と普及を目指し、産業界や研究機関との連携を通じて技術の発展に貢献してまいりました。2011年には公益認定を受け、現在の公益財団法人天田財団となりました。

長年にわたり金属等に対する塑性加工やレーザープロセッシングに関する研究開発への助成事業、並びにその普及啓発事業の充実に努めてきました。

2019年には、金属等の加工に従事する者の技能と地位の向上を目的とした資格の取得に対する助成を新たに加え、公益事業のさらなる拡大を図りました。

当財団は「人を育て 知を拓き 未来を創る」という運営指針を掲げ、金属等の加工に関する優れた研究活動や国際交流へ助成するとともに、その助成研究成果を積極的に産業界へ普及啓発し、日本の「モノづくり」に公益事業を通じて貢献するよう今後も一層努力してまいります。

創造は未来を拓く

1987

財団法人
天田金属加工機械
技術振興財団設立

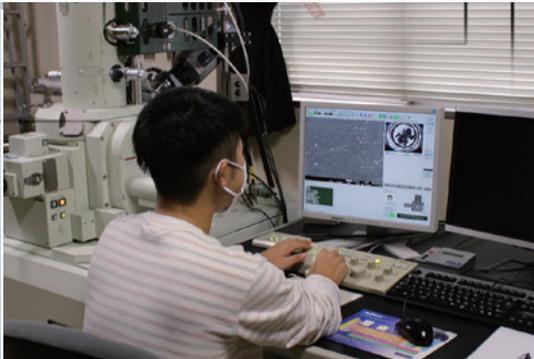
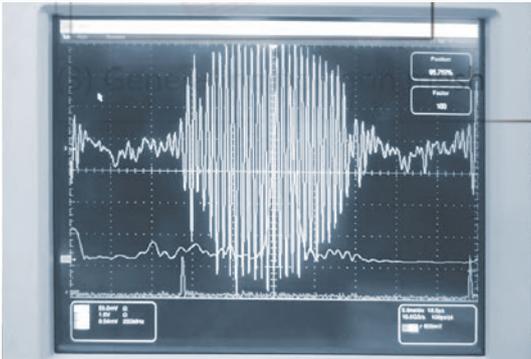
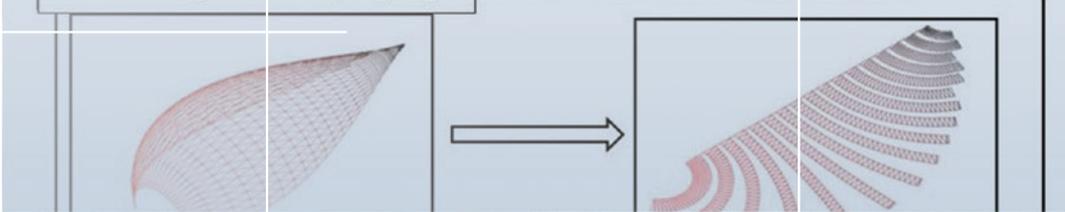
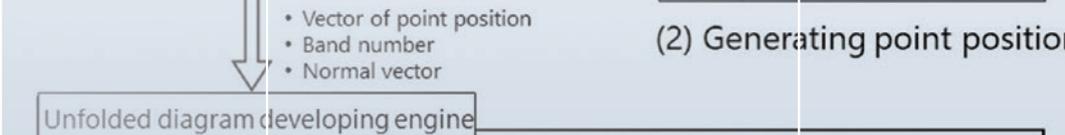
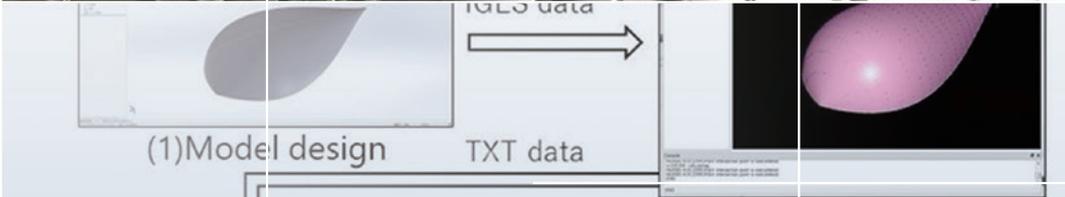
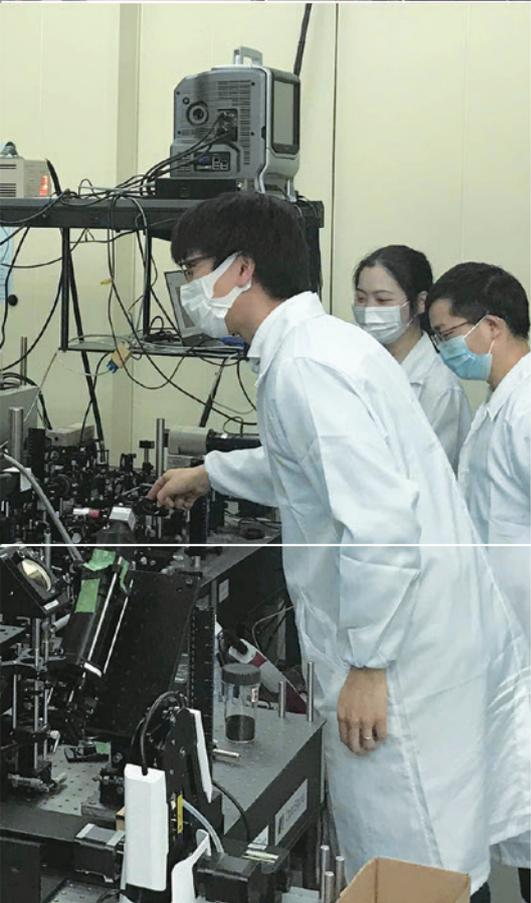
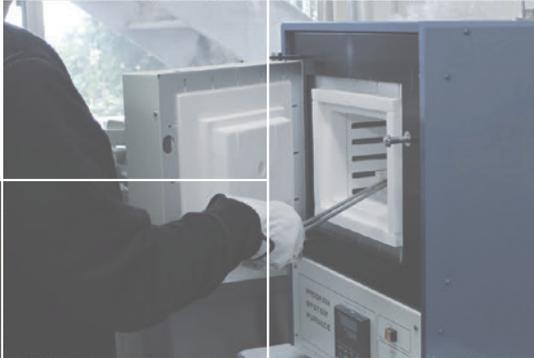
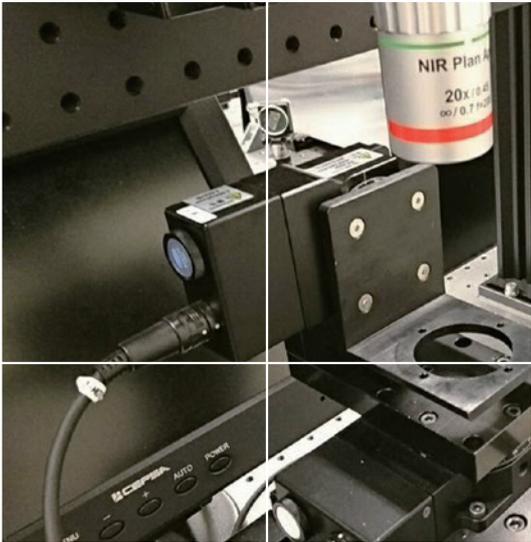
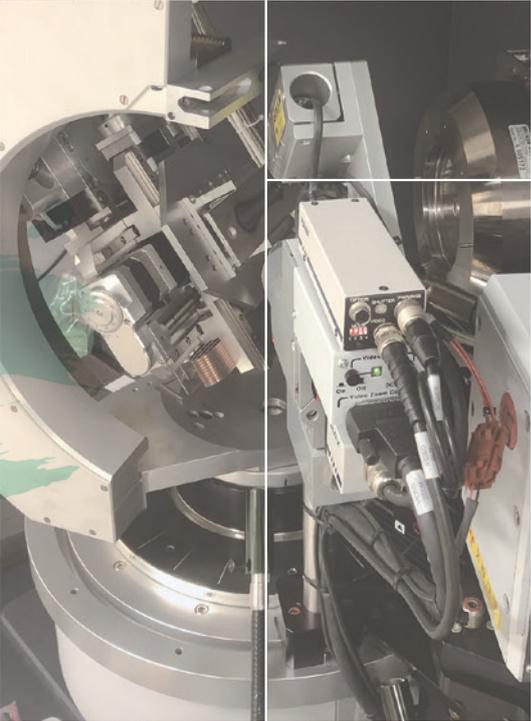
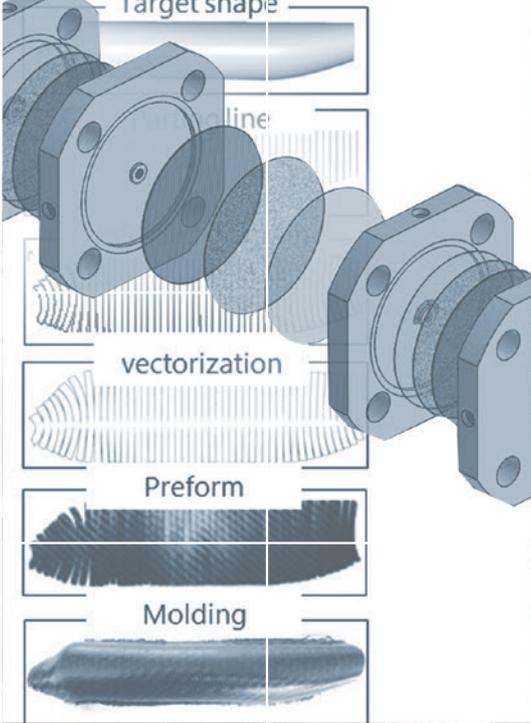
2011

公益認定
公益財団法人
天田財団 発足

私は新理事長として財団の過去の功績と経験を活かしながら、また財団創設者のこの業界発展に対する並々ならぬ意志と熱い思いを引継ぎながら、未来への挑戦と発展を追求してまいります。

SGD's(持続可能な開発目標)の達成やカーボンニュートラル(温暖化ガス排出ゼロ)の実現さらには生成AIの出現など、変化する社会のニーズに対応し、社会課題の解決に向けた公益財団としてのイノベーションを促進してまいります。また、公益財団としての透明性と責任を重視し、厳格なガバナンスと効果的な資源の活用に努め、より良い未来を築いていくために、一層の努力を惜しまず進んでまいります。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



社会貢献

「民による公益」の増進を図る。

近年、研究の資金・環境・人材など、

我が国の研究力・技術力を支える基盤そのものの脆弱化が強く指摘されています。

天田財団は金属等の加工に係る研究開発や国際交流への助成を通じて、

我が国の産業及び経済の健全な発展に寄与することを目的に、

常に時代の要請に応じた真に有益な公益事業の推進に努めています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

未来を創る

知を拓き、

人を育て、

研究助成
事業

技能者育成
支援

普及啓発
事業

天田財団は「人を育て 知を拓き 未来を創る」を運営理念に掲げています。財団創設当時より理念の中心を成す「人」にフォーカスし、事業を行ってまいりました。研究・交流の場の充実のための支援を行い、研究者・技術者の知見・技量の向上を図る、研究で得られた成果を広く啓蒙し普及に繋げる、それらの研究成果を具現化し来たるべき未来社会に貢献する。1987年より培ってきたこの理念を胸に、私たち天田財団はさらなる事業の拡大・充実に努めてまいります。

公益事業

当財団の公益事業は、『助成事業』と『普及啓発事業』の2つの大きな柱があります。

助成事業



研究開発助成事業

- 1 重点研究開発助成 (課題研究)
- 2 一般研究開発助成
- 3 奨励研究助成 (若手研究者)



資格取得支援事業

- 9 技能検定受験手数料助成



国際交流助成事業

- 4 国際会議等準備および開催助成
- 5 第1回国際会議等準備および開催助成
- 6 国際会議等参加助成
- 7 国際会議等参加助成 (若手研究者)
- 8 国際シンポジウム等準備および開催助成

各事業助成金 (上限額)

- 1 1,000万円/件 2 300万円/件 3 200万円/件
- 4 100万円/件 5 150万円/件 6 1名の場合45万円、2名の場合90万円
- 7 45万円/件 8 50万円/件
- 9 2023年度予算1,000万円

普及啓発事業



研究報告事業

天田財団助成研究成果報告書
FORM TECH REVIEW



普及啓発事業

天田財団助成研究成果発表会
天田財団助成式典
公共展への参画
財団ニュース

天田財団概要

沿革

昭和62年(1987)	天田 勇が設立代表者として財団法人天田金属加工機械技術振興財団を設立
平成1年(1989)	『研究概要報告書・国際交流報告書』発刊開始
平成3年(1991)	「助成成果研究会 FORM TECH」を開催開始、『FORM TECH REVIEW』発刊開始
平成19年(2007)	レーザプロセッシング分野へも助成開始、創立20周年記念行事開催
平成23年(2011)	公益財団法人に移行。名称を公益財団法人天田財団に改める
平成27年(2015)	創立30周年記念事業発足。重点研究開発助成A・B等、新たな助成プログラム立ち上げ
平成28年(2016)	天田財団助成式典および九州産学交流会開催
平成29年(2017)	創立30周年記念式典・助成式典開催。北陸産学交流会開催。レーザプロセッシング研究成果発表会開始。
令和元年(2019)	「技能検定受検手数料助成」開始
令和5年(2023)	「レーザ加工作業」を「技能検定受検手数料助成」の対象作業に追加

役員・評議員

理事(五十音順)

理事長*	伊藤 克英	公益財団法人 天田財団
専務理事*	佐藤 雅志	公益財団法人 天田財団
理事	帯川 利之	東京大学 名誉教授
理事	北村 憲彦	名古屋工業大学 教授
理事	小部 春美	あいおいニッセイ同和損害保険(株) 顧問 / (株)アマダ 社外取締役
理事	平等 拓範	理化学研究所 グループディレクター / 分子科学研究所 特任教授
理事	柳本 潤	東京大学 教授
理事	山口 滋	東海大学 教授
理事	吉田 一也	東海大学 客員教授
理事	割澤 伸一	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授

* 常勤

監事(五十音順)

監事	石橋 和男	公認会計士 / 元有限責任監査法人トーマツ 監事
監事	重田 孝哉	元(株)アマダ 常勤監査役

評議員(五十音順)

評議員	青山 藤詞郎	慶應義塾大学 名誉教授
評議員	石川 孝司	名古屋大学 名誉教授
評議員	板谷 憲次	一般財団法人 素形材センター 代表理事副会長・専務理事
評議員	片山 聖二	大阪大学 名誉教授
評議員	阪部 周二	京都大学 名誉教授 / 京都大学 学際融合教育研究推進センター 特任教授
評議員	篠塚 力	篠塚・野田法律事務所 弁護士 / 元東京弁護士会会長 / 元日本弁護士連合会副会長 / 日本大学学外監事
評議員	光石 衛	東京大学 名誉教授 / 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 理事
評議員	山内 和幸	(株)アマダ 常務執行役員
評議員	吉田 総仁	広島大学 名誉教授
評議員	渡辺 一弘	創価大学 教授



天田財団の刊行物

『FORM TECH REVIEW』

『FORM TECH REVIEW』は年度末の3月に発刊し、既刊の『天田財団助成研究成果報告書(旧:研究概要報告書・国際交流報告書)』の中から特集を組み、目覚しい成果を上げたものを選考、各研究者に最新情報を加筆していただいた上で掲載しています。

また、「天田財団助成研究成果発表会」での講演論文集の役割も担っています。なお、2015年度版からレーザープロセッシング分野の特集も組み、合本の形で論文掲載を行っています。

毎年3月発刊
2023年3月にて Vol.31
2000部
天田財団HPに掲載しています。



『天田財団助成研究成果報告書』



最新年度に提出された助成研究成果の報告書で毎年11月末に発刊する。

毎年11月発刊
2022年11月にて Vol.35
1500部

『助成先一覧』



最新年度の助成先一覧。(平成28年度より顔写真付き)

毎年3月発刊
2500部

『天田財団ニュース』



天田財団の諸活動を広く紹介する。

毎年春・秋2回発刊
2023年春号にて No.14
4000部

アクセス



AMADA FORUM

【電車でお越しの場合】

小田急線「愛甲石田駅」より徒歩10分

【お車でお越しの場合】

東京/名古屋方面から東名高速道路厚木インターを下りて約5分です。

料金所を出てから伊勢原246矢印に従って進行し「厚木西」が出口となります。

カーナビで登録する場合は伊勢原市石田350番地 (FORUM246表示になる場合があります) でお願いたします。

また、下記マップコードを対応したカーナビに入力してご利用いただくこともできます。

MAPCODE® 15 581 660*87

「マップコード」および「MAPCODE」は㈱デンソーの登録商標です。

公益財団法人 天田財団

〒259-1116 神奈川県伊勢原市石田350

TEL:0463-96-3580 / FAX:0463-96-3579

www.amada-f.or.jp

